



主催：令和8年度鳥取県介護生産性向上総合相談センター（鳥取県委託事業）

介護現場における 生産性向上の取組普及セミナー

～現場で使える介護テクノロジーに出会うための準備8割～

※ 当日は会場にて介護テクノロジーの機器展示会を開催！

参加
無料

プログラム・タイムテーブル

13:00	開会挨拶
13:05	・講演「生産性向上の取組みにおける重要なポイント」 ・準備8割ワーク「現場で使える介護テクノロジーに出会うための準備8割」 講師：株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏 ※ 事前課題（アンケート）をもとに「準備8割」実践ワークを行います！ ・鳥取県介護生産性向上総合相談センターの紹介 公益財団法人介護労働安定センター鳥取支部
14:30	※ 会場後方で介護テクノロジーの機器展示会を開催！
16:00	閉会

【事前課題】「生産性向上くん®」を用いたアンケートの実施

最適なテクノロジー導入を進めるため、事前アンケートの実施をお願いいたします。

- ① 右記二次元コードにアクセスし、アカウントと職員情報の登録を行ってください。
- ② 「生産性向上くん®」の課題抽出アンケートを参加者の所属するフロアやユニットで実施し、現場職員の課題の声を見える化したうえで当日ご参加ください。

課題抽出アンケートの結果は、介護労働安定センター鳥取支部へ共有いただきます。
共有方法は開催前にご案内いたします。



開催日 2026年 **7/13** (月)

時間 **13:00～16:00** (受付 12:30～)
※ 14:30～16:00 機器展示会

場所 **米子コンベンションセンター BiG SHiP**
国際会議室 2F (米子市末広町294)

対象者 経営者・管理者とリーダー・主任 等のペア参加が望ましい。

開催形式 対面、オンライン

講師

株式会社TRAPE
代表取締役

鎌田 大啓



黎明期より、厚生労働省が推進する介護現場の生産性向上の取り組みに深く関与し、厚生労働省「生産性向上ガイドライン」の作成・改訂などに携わるとともに、同省の各種委員を歴任。全国のワンストップ窓口や介護事業所への伴走支援を通して、介護現場における生産性と働きがいの向上、介護テクノロジーの導入・活用支援に取り組んできた。さらに、厚生労働省主催セミナーの講師を務めるなど、豊富な実績を有する。

本研修は、令和8年度鳥取県介護テクノロジー導入支援事業補助金の要件を満たす研修として位置づけられています。



セミナー 申込書

FAX で 本紙を送信

公益財団法人介護労働安定センター鳥取支部

(0857-21-6572)

または

右の二次元コードを読み込み
Googleフォームからお申込みください。



申込期限：令和8年6月26日（金）

申込事業所情報

法人名・事業所名		担当者名	
住 所	〒		
電話番号		FAX番号	

申込事業所情報

参加者氏名	参加者役職	参加方法	※いずれかに○をして下さい。
		対面	・ オンライン
		対面	・ オンライン
		対面	・ オンライン
		対面	・ オンライン

※オンライン参加の方はメールアドレスを記載ください 「 」

申込時アンケート

1. 生産性向上の取組ステップはどこまで進んでいますか？（1つ選択）

- ☐ まだ実施していない
☐ STEP1（改善活動の準備）まで実施した
☐ STEP2（課題の見える化）まで実施した
☐ STEP3（実行計画の作成）まで実施した
☐ STEP4（改善活動の実行）まで実施した
☐ STEP5（活動の振り返り）まで実施した
☐ STEP6（計画の練り直し）まで実施した
☐ 既に2回目以降の取組に進んでいる

4. 実際に取り組んだ課題はなんですか？（複数回答可）

- ☐ 職場の環境整備（例：5S）
☐ 業務の仕組み（例：役割分担、手順）
☐ 個別業務（例：入浴、見守り）
☐ 情報共有
☐ テクノロジー導入・活用
☐ 介護助手の導入・活用

2. 生産性向上の委員会について（1つ選択）

- ☐ まだ作っていない
☐ 作ったが運用できていない（時間がない）
☐ 作ったが運用できていない（やり方が分からない）
☐ うまく運用できている

5. 導入しているテクノロジーを教えてください（複数回答可）

- | | |
|--|--|
| ☐ 移乗支援（装着）
☐ 移乗支援（非装着）
☐ 移動支援（屋外）
☐ 移動支援（屋内）
☐ 移動支援（装着）
☐ 入浴支援
☐ 排泄支援（排泄物処理）
☐ 排泄支援（動作支援）
☐ 排泄支援（排泄予測・探知） | ☐ 見守り（施設）
☐ 見守り（在宅）
☐ コミュニケーション
☐ 介護業務支援
☐ 機能訓練支援
☐ 食事・栄養管理支援
☐ 認知症生活支援・
認知症ケア支援 |
|--|--|

3. 現場課題の見える化について（1つ選択）

- ☐ まだ実施していない（時間がない）
☐ まだ実施していない（やり方が分からない）
☐ 実施した（課題が整理できた）
☐ 実施した（課題が整理できていない）

6. 5で回答されたテクノロジーの機器名を教えてください（導入しているものをご記入ください）

7. どのような成果ができましたか（複数回答可）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ☐ 取り組んでいるが成果はまだでない | ☐ 職場の雰囲気が良くなった |
| ☐ 時間を削減できた | ☐ 人材が育ってきた |
| ☐ 仕事のバラつきがなくなった | ☐ 離職が減った |
| ☐ 利用者に向き合う余裕ができた | ☐ その他（ ） |
| ☐ ケアの質が向上した | |

<講師への質問など>